

認定 一般会計決算額 **黒字**

歳入総額 170億5,795万円
 歳出総額 169億9,629万円
 翌年度に繰り越すべき財源330万円
 実質収支 5,836万円

健全化判断比率は？ (単位：%)

名称	健全化判断比率
実質赤字比率	赤字額なし
連結実質赤字比率	赤字額なし
実質公債費比率	15.1 (25)
将来負担比率	133.8 (350)

※比率がカッコ内の基準数値を上回ると財政健全化計画を策定し、自主的に財政の早期健全化に向けた取り組みを行わなければなりません。

市民1人当りの状況は？

貯金(基金)残高 12万円
 総額24億5,460万円

借金(市債)残高 174万円
 総額349億2,518万円

※特別会計、企業会計を含む全会計

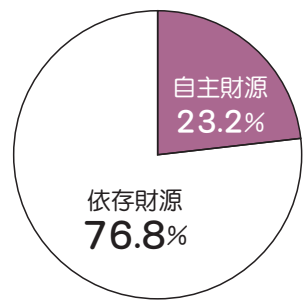
各会計別の歳出額は？

会計区分	歳出決算額	
一般会計	169億9,629万円	
特別会計	介護保険	24億259万円
	国民健康保険	29億3,928万円
	後期高齢者医療	3億7,821万円
	農業集落排水	1億5,564万円
	下水道事業	7億2,036万円
小計	65億9,608万円	
企業会計	水道事業	7億5,268万円
	病院事業	54億8,095万円
小計	62億3,363万円	
合計	298億2,600万円	

市民1人当りの状況は？
 入ったお金 85万円

市税	みなさんからの税金	10万7,000円
交付税各種交付金	国や道からの補助、税の配分	38万3,000円
使用料及び手数料	使用料、負担金、各種証明手数料	1万4,000円
国・道支出金	国や道の代わりに行う特定の事業に対する国や道からのお金	15万4,000円
寄附・財産収入	寄附金、利子、財産収入	1万7,000円
繰入金	特別会計や預貯金からの繰入れ	2,000円
繰越金	繰越金	1万2,000円
諸収入等	その他の収入	4万8,000円
市債	借りましたお金	11万3,000円

②R2.3月末人口 20,058人で算出。概数としてご理解ください。



自立？依存？

市税などの自主財源が少なく、地方交付税などの国や北海道から配分される依存財源に大きく頼っている状態です。

10/20 30 30 25 24

付託された委員会
 決算審査特別委員会
 総括質疑

本会議④ 決算認定の採決

広報編集委員会において決算に関する周知の掲載方法を協議②に
 広報編集委員会において決算に関する周知の掲載方法を協議①に



一般会計
 使ったお金 84万7,000円

議会費	議員報酬、政務活動費など	6,000円
総務費	庁舎等の管理、統計調査、選挙など	3万5,000円
民生費	子育て支援、福祉医療など福祉の充実	18万5,000円
衛生費	ごみ処理など市の衛生	9万7,000円
農林水産業費	農林業の振興	7万8,000円
土木費	道路や川、橋などの土木工事	8万3,000円
消防費	消防や救急	2万5,000円
教育費	学校教育や社会教育の充実	7万9,000円
公債費	借金の返済	12万6,000円
職員費	職員給与など	10万8,000円
その他	労働費、商工費など	2万5,000円

【議会費の決算状況】
 ・議員報酬及び手当等 1億232万円
 ・議会運営及び事務 784万円
 ・議会広報発行 91万円など

～第3回臨時会・第3回定例会の審議件数～

条例	人事案件	決算認定	補正予算	意見書	付議事件※
3件	1件	8件	10件	7件	10件

元年度決算と9月議会の流れ

令和元年度事業終了
 3月31日で会計年度は終わりますが、光熱費などは4月1日以降に請求されるため、前年度の支払等の整理期間となります。

出納閉鎖期間
 3月31日
 決算書作成開始

6月 5月 4月 3/31

決算書や付属書類などを作成
 監査委員による決算監査
 監査委員2人が、決算書や付属資料をもとに審査し、意見書を作成

9月定例会
 本会議① 一般質問
 ・議案や元年度決算に関する提案説明
 ・決算審査特別委員会を設置し、6人の委員を議長が指名
 ・決算審査特別委員会に付託

14 9/11 8月 7月
 本会議② 一般質問
 決算審査特別委員会
 本会議③ 一般質問
 常任委員会
 決算審査特別委員会
 本会議④ 決算認定の採決

23 16 15 14
 員会で慎重に審査
 決算審査特別委員会

第3回定例会(9月議会)では、6人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、令和元年度決算について9月23日、24日、25日の3日間、書面審査や総括質疑を行うなど集中的に審査を行いました。



令和元年度決算 議会が厳しくチェック！

※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、人事案件、決算認定、予算、意見書以外のものを付議事件としています。



決算審査特別委員会

総括質疑

質疑の中から一部を紹介します。

要保護・準要保護児童生徒援助

辻本副委員長

要保護・準要保護児童生徒援助において、当初予算では2,141万円ほどを計上していたが、決算額は1,432万円と大幅な減少となっている。就学援助の認定者数の変動、否認者数の推移、またこれらの状況は、生活保護基準の改定が影響しているのか見解を伺う。

決算額 1,432万円



学用品費等を援助

(答弁) 就学援助の認定者数について、平成30年度は185人、令和元年度は149人で前年度から36人減っており、また、否認者数については、平成30年度が10人でしたが令和元年度は33人で前年度から23人増えています。就学援助対象者の認定に使用する生活保護基準は、平成30年10月から3年間で、段階的に見直しが見直されることから、北海道教育委員会からの通知をもとに、できる限り見直しによる影響が及ばないように対応しており、令和元年度に否認者数が増加した要因は、世帯構成の変更や収入の増加によるものです。

公共交通確保対策(路線バス等)

小田委員

路線バスの市内循環線は1年間の実証実験を経て、平成31年4月から本格運行しているが、実証実験による課題をどのように検証し、対応したのか。

決算額 2,340万円



路線バス

(答弁) 実証実験において、積雪等の影響により停留所の位置にふぐあいが確認されたため、停留所の新設や位置を変更したほか、本格運行後も、利用者の声や地域の要望等に基づいた見直し作業を進めており、利用者の多くが目的地へ短時間で、また乗り継ぎすることなく移動できるよう、経路の見直しを行うなど、利便性の向上に努めています。

道の駅カフェコーナー

佐々木委員

道の駅のカフェコーナーについて、昨年からカフェコーナーはおにぎりコーナーになり、コーヒーはテイクアウトコーナーに移っている。応募要項違反だと思いが、これを市は認めているのか伺う。



道の駅「ライズランドふかがわ」

(答弁) 道の駅「ライズランドふかがわ」のテナント選定に係る質疑については、住民訴訟にかかわってくる内容のため、この場での答弁は差し控えていただきます。議論は住民訴訟の場と考えておりますので、その場で必要に応じて必要な主張をさせていただきます。ご理解ください。

住宅リフォーム助成金事業

田中委員

令和元年度からは過去に助成を受けた方の2回目の助成も認められたが、令和元年度の実施状況と事業開始からの全体の状況について伺う。

決算額 3,315万円



住宅助成制度を活用した住宅

(答弁) 令和元年度の申請件数は192件、助成額3,314万7,000円。そのうちの2回目の申請件数は54件、助成額1,012万9,000円となっており、2回目の受け付け件数が全体の約28.1%となっています。また、事業開始からの実施状況は、11年間で申請件数1,798件、助成額3億460万7,000円。工事契約金額25億4,235万1,000円で費用対効果割合は約8.35倍となっています。

トレーニング施設整備事業

山本委員

令和元年度に整備した、学びと集いの郷音江広里交流館エフパシオのトレーニング室の概要を伺う。

決算額 1億8,928万円



エフパシオトレーニング室

(答弁) トレーニング室は、学びと集いの郷音江広里交流館エフパシオの機能を高め、さらなる合宿誘致を図ることを目的に整備したもので、さまざまな年齢やスポーツ種目の方々が、それぞれの体力や目的に合わせたトレーニングができる機器を整備しました。利用者からは、「これだけ最新鋭の機器がそろっている宿泊施設は珍しい」などの高い評価を受けています。

在宅老人等給食サービス事業

田中委員

高齢者や障がい者の見守りも行っている在宅老人等給食サービス事業は、「この弁当が栄養源」などの利用者の声を聞く。この事業の効果、課題を伺う。

決算額 726万円



在宅老人等給食サービス：市HP

(答弁) 本事業は、定期的な配食支援により高齢者の安否確認ができるほか、栄養バランスのよい食事をとることで、高齢者が陥りやすい低栄養になることを予防する効果があると考えています。また、希望者が増えた場合に対応できるかが今後の課題となっており、安定した配食事業を行うことができる事業者を確保し、高齢者の皆さんが安心して在宅生活を送ることができるよう取り組んでいきます。

ふるさと納税

小田委員

ふるさと納税は、深川市財政にとってなくてはならない事業である。令和元年度の寄附額と事業の取り組み、及び今後の課題を伺う。

決算額 1億9,450万円



ふるさと納税PRチラシ

(答弁) 令和元年度のふるさと納税の寄附額は約3億7,180万円となり、取り組みとしては、ウェブサイトでの寄附の受け付けチャンネルを増設したほか、お米の定期便に長期メニューを加え、1件当たりの寄附金額増を図ったところです。今後の課題はさらなる寄附金額の増加と考えており、地域の特色を生かした役務やサービスの提供など、工夫を凝らした返礼品導入の可能性を検討していきます。

決算説明書「深川市の今年のしごと(決算編)」

市では、毎年、市民のみなさんに決算の内容を知っていただくため、主な事業をわかりやすくまとめた冊子「深川市の今年のしごと(決算編)」を作成しています。



決算説明書の冊子は、各町内会に配布しているほか、市の公共施設に備えていますので、ぜひごらんください。



市ホームページからも確認できます。

実質赤字額を生じさせることのないよう、財政運営に取り組まれております。今後も、歳入面では、財源確保と負担の公平性を図る観点から、市税のさらなる収納率向上や、収入未済額の縮減を、また、歳出面では、優先度を考慮し、費用対効果を検証しながら事業の推進に当たると、持続可能な健全財政を堅持されるよう一層の努力を望みます。

また、厳しい経営環境にある市立病院への財政支援を行うなど、連結税の周知に努めた結果、寄附金は前年度を上回る収入となっています。歳出においては、新規・重点施策として、妊娠・出産・子育て応援交付金事業の実施、深川市庁舎整備検討会議の開始、統合保育園と子育て支援センターの建設、地域資源活用農畜産物処理加工施設の整備などに取り組んでいます。

持続可能な健全財政を堅持されるよう一層の努力を望む 〔金山代表監査委員による一般会計決算審査意見(要旨)〕

決算書は法令に準拠して作成されており、計数も関係帳簿と照合した結果、正確であり、予算の執行状況についても適正に行われていると認められました。本市の財政は、地域を取り巻く経済環境とともに依然として厳しい状況が続いていますが、一般会計の歳入においては、地方交付税や各種交付金等の確保に努め、さらには、ふるさと納税の周知に努めた結果、寄附金は前年度を上回る収入となっています。歳出においては、新規・重点施策として、妊娠・出産・子育て応援交付金事業の実施、深川市庁舎整備検討会議の開始、統合保育園と子育て支援センターの建設、地域資源活用農畜産物処理加工施設の整備などに取り組んでいます。



金山代表監査委員による決算審査意見

Pick Up
補正予算
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第2次)を活用しさまざまな施策を実施

8月3日開会の第3回臨時会及び9月11日開会の第3回定例会において、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染予防等による影響を受けている地域経済や市民生活の支援などのための各事業費が計上された一般会計補正予算を可決しました。事業費は、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第2次)」等で賄われるもので、補正予算の総額は約6億6,223万円です。これらの事業の中から主なものを一部紹介します。

GIGAスクール構想実現に向けた環境整備事業

市内小中学校の児童生徒に学習用タブレット端末を貸与し、オンライン学習等が行えるようネットワーク環境を整備します。



総額 1億1,612万円

水道料金軽減等事業

新たな生活様式の一環である、うがい・手洗いの励行による一般家庭への影響を緩和するため、10月～12月分の水道料金の一部を軽減します。



総額 4,599万円

そのほかの主な事業

- 市立病院感染症対策物品整備事業 623万円
- 市立病院感染症対策備品購入事業 1,524万円
- 市立病院感染症対策施設整備事業 467万円
- 学校施設換気向上及び3密対策事業 4,680万円
- 防災備蓄品整備事業 5,060万円
- そば生産緊急対策給付金 1,920万円

高齢者インフルエンザ予防接種費用特別助成事業

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行を防ぐため、高齢者のインフルエンザ予防接種費用を全額助成します。



総額 2,400万円

【市功労者提案】

市功労者表彰条例に基づく提案

公益功労者10人及び1法人を表彰することに對して全会一致で同意

同意

- 消防団活動と統計調査の推進に貢献された
佐藤 松文さん
- 交通安全運動の普及・推進に貢献された
宮崎 三徳さん
- 地域保健医療の向上と地域福祉の発展に貢献された
林 憲雄さん
- 社会福祉の発展に貢献された
東出 周子さん
- 農業の振興発展に貢献された
早崎 優美さん
- 建設業・商工業の発展に貢献された
荒井 收さん
- 市民皆スポーツの推進に貢献された
深澤 吉人さん
- 文化薫るまちづくりの推進に貢献された
小田 セツさん

監査委員の選任

同意

監査委員 金山泰明さんの任期満了に伴い、引き続き同氏を選任したいとの提案があり、全会一致で選任に同意しました。

【条例】

全会一致

- 深川市職員給与条例の一部を改正する条例について
- 深川市税条例の一部を改正する条例について
- 深川市営住宅条例の一部を改正する条例について

【意見書】

内閣総理大臣などに送付しました

全会一致

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- 道路の整備に関する意見書
- 種苗法改正案の慎重な審議を求める要望意見書
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書
- PCR検査の拡充と手続き簡素化を要望する意見書
- 北海道子ども医療費助成制度の拡充を求める意見書

	議員名 (議席番号順)													議決結果		
	佐々木一夫	松本雅祐	山本時雄	北村薫	大前昭代	田畑陽美	太田幸一	宮澤孝司	辻本智	近沢弘幸	小田雅一	鶴岡恵司	田中昌幸		北名照美	
第3回定例会	令和2年度深川市一般会計補正予算(第6号)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度深川市一般会計補正予算(第8号)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度深川市一般会計歳入歳出決算認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度深川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度深川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議会の質疑・質問回数制限廃止を求める陳情書	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○	○	不採択

※賛成=○、反対=●、除=除斥(採決に加わることができない)、鶴岡恵司議長は採決に加わりません